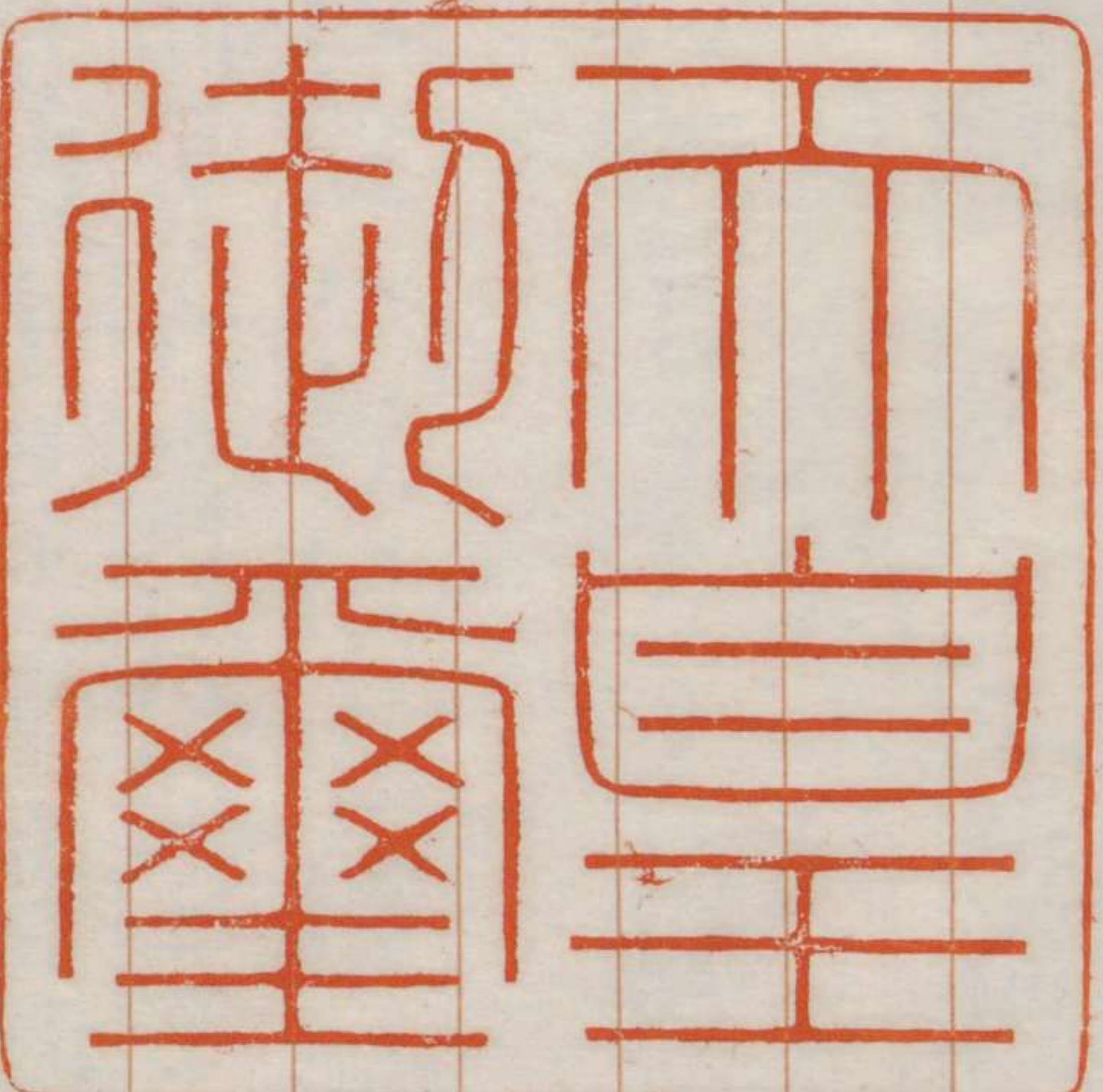


勅令  
第三十八號

朕茲二技術官官等俸給令ヲ裁可ス

睦仁



明治十九年四月二十九日



内閣總理大臣伯爵伊藤博文

勅令第三十八號

技術官官等俸給令

第一條 各廳ニ於テ工藝技術ヲ要スル  
モノハ職員ノ外特ニ技術官ヲ置ク

第二條 技術官ヲ分テ技監技師技手ト  
ス

第三條 技監ハ勅任トシ技師ハ奏任トシ  
一等技師ヨリ六等技師ニ至リ技手ハ判  
任トシ二等技手ヨリ十等技手ニ至ル

第四條 技監技師ノ叙任奏薦辭令書同

等内ノ順序定員年俸及陞叙特例ハ勅  
令第六號高等官官等俸給令ニ依ル  
第五條 技手ノ月俸ハ別表定ムル所ニ  
從ヒ各廳俸給定額内ニ於テ事業ノ繁  
簡ニ應ヒ便宜増減支給ス  
第六條 技手ハ各廳ノ便宜ニ從ヒ別表  
技手俸給範圍内ニ於テ日給トナスコ  
トヲ得  
第七條 技手ノ昇等毎等ノ定員特別増  
俸及在官死亡者ノ賜金ハ勅令第三十

六號判任官官  
第八條 技手ノ  
ニ依ル  
業ノ繁簡ニ從

本屬大臣ノ定ムル  
外俸給定額内ニ於  
臨時雇員ヲ使  
用スルコトヲ得

第九條 日給ノ技手疾病  
十日以内ニシテ其證據明  
ハ日給ノ半額ヲ給スルコト  
但公務ニ依リ傷痍シ又ハ疾病ニ罹リ  
タル者ハ本條ノ限ニアラス

等内ノ順序定員年俸及陞叙特例ハ勅  
令第六號高等官官等俸給令ニ依ル  
第五條 技手ノ月俸  
從ヒ各廳俸給定額  
簡ニ應ヒ便宜増減  
第六條 技手ハ各廳  
技手俸給範圍内  
トヲ得  
第七條 技手  
俸及在官死  
第六號判任官官等俸給令ニ依ル  
第八條 技手ノ人員ハ事業ノ繁簡ニ從  
ヒ本屬大臣ノ定ムル所ニ依ル但定員  
ノ外俸給定額内ニ於テ臨時雇員ヲ使  
用スルコトヲ得  
第九條 日給ノ技手疾病ニ罹リ缺勤三  
十日以内ニシテ其證據明白ナルトキ  
ハ日給ノ半額ヲ給スルコトアルヘシ  
但公務ニ依リ傷痍シ又ハ疾病ニ罹リ  
タル者ハ本條ノ限ニアラス



第六號判任官官等俸給令ニ依ル  
第八條 技手ノ人員ハ事業ノ繁簡ニ從  
ヒ本屬大臣ノ定ムル所ニ依ル但定員  
ノ外俸給定額内ニ於テ臨時雇員ヲ使  
用スルコトヲ得  
第九條 日給ノ技手疾病ニ罹リ缺勤三  
十日以内ニシテ其證據明白ナルトキ  
ハ日給ノ半額ヲ給スルコトアルヘシ  
但公務ニ依リ傷痍シ又ハ疾病ニ罹リ  
タル者ハ本條ノ限ニアラス

第十條 日給技手ヲ定時間外ニ服業セ  
シムルトキハ俸給定額内ニ於テ便宜  
加給スルコトヲ得

第十一條 日給技手ヲ除クノ外總テ技  
術官ハ其主務ノ便宜ニ依リ其年俸又  
ハ月俸ノ半額ヲ給シ之ニ休職ヲ命ス  
ルコトヲアルヘシ

第十二條 技術官ニシテ休職ヲ命セラ  
レ普通文官ノ事務ヲ兼ヌルモノハ兼  
官ニ就テ其年俸又ハ月俸ヲ給ス但此

ノ場合ニ於テハ別ニ休職俸ヲ給セス



